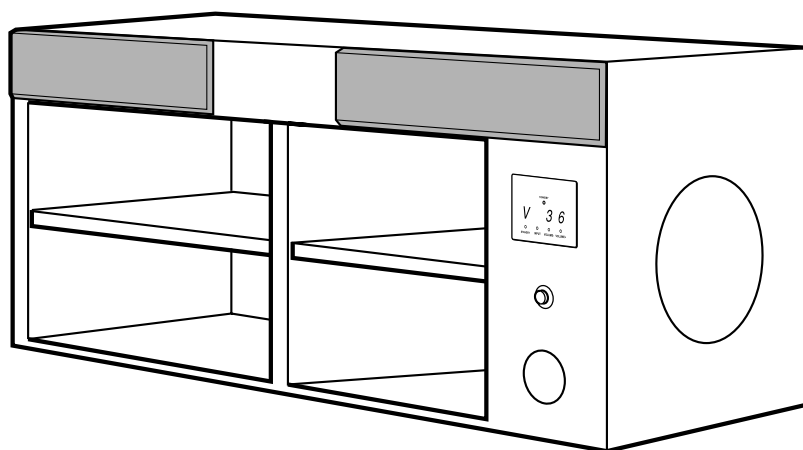


ATB090/ATB120/TA090/TA120

リモコン付アンプ内蔵 2.1 チャンネルスピーカー搭載テレビ台 取扱説明書



はじめに

このたびは、リモコン付アンプ内蔵2.1チャンネルスピーカー搭載テレビ台「ATB090/ATB120/TA090/TA120」をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は「ATB090/ATB120/TA090/TA120」の共通の取扱説明書ですが、「ATB120」モデルを中心に説明しています。

本製品を正しくお使いになるために、ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになったあとは、いつでも取り出せる場所に大切に保管して、必要なときにお読みください。

Point

- 「ATB090/TA090」は横幅が 90cm のモデル、「ATB120/TA120」は横幅が 120cm のモデルです。
- デザインおよび仕様は、性能改善のため、予告なく変更する場合があります。

主な特長

- 左右に配置されたステレオスピーカーと大型サブウーハーにより、手軽に高音質サウンドを楽しめます。
- ステレオミニジャック（3.5mm ミニジャック）と通常のステレオジャック（RCA ピンジャック）の 2 系統の入力を切り替えてご利用になれます。

Point

- 本機は、ご家庭で音楽や映画などを再生する目的で設計されています。オーディオのテストディスクなどを再生したり、業務用機器と接続して使ったりすると、故障やスピーカー破損の原因となることがあります。

使用上のご注意

人身上の事故や財産の損害を防ぐために守っていただきたい内容を説明しています。これらの内容をよく理解して、正しくお使いください。



警告

この表示の注意事項は、人が死亡または重傷を負う危険性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の注意事項は、人が傷害を負ったり、物的損害が発生することが想定される内容を示しています。

絵表示の例



は注意（警告を含む）をうながす記号です。



は行為を禁止する記号です。具体的な禁止内容を図で表すこともあります。



は行為を指示する記号です。具体的な指示内容を図で表すこともあります。

ATB090/ATB120/TA090/TA120 リモコン付アンプ内蔵 2.1 チャンネルスピーカー搭載テレビ台

 警告**電源**

禁止

指定の電源電圧（AC100V / 50/60 Hz）以外で使用しない。

火災・感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねたり、加熱しない。

コードが破損（芯線の露出や断線など）して、火災・感電の原因になります。コードが傷んだときはお買上げの販売店に交換をご依頼ください。



禁止

芯線の露出や断線など、電源コードが傷んだまま使わない。

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。お買上げの販売店にご相談ください。

設置

指示

熱がこもらない場所などに設置し、周囲に 15cm 以上の空間を空ける。

部品の破損や故障・火災の原因になることがあります。また、熱がこもると保護回路が働き、正常に動作しないことがあります。



禁止

水をかけたり、ぬらさない。

火災・感電の原因になります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用の際はご注意ください。



水ぬれ禁止

本体の上に花瓶やコップ、化粧品、薬品、植木鉢など、水の入った容器を置かない。

こぼれて水が中に入ると、火災・感電の原因になります。



禁止

本体にテーブルクロスなどの布をかぶせない。また、じゅうたんや布団の上には設置しない。

火災の原因になります。

機器の異常

電源プラグを抜く

煙が出ていたり、変なにおいや音がするときは、すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してお買上げの販売店にご相談ください。



指示

側面（正面から見て右側）のサブウーハーの前に 15cm 以上の空間を空ける。

壁面や家具等が振動してビリツキの原因になります。

⚠ 警告



電源プラグを抜く

内部に水や異物等が入ったときは電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。お買上げの販売店にご相談ください。

その他



接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。

感電の原因になります。



分解禁止

分解や改造をしない。修理技術者以外の人は修理しない。

火災・感電の原因になります。点検・整備・修理はお買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

本機の内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を入れない。

火災・感電の原因になります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。



電源プラグを抜く

本機を移動するときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたうえで、接続した機器のコードやケーブルを抜く。

火災・感電・故障の原因になります。

⚠ 注意

電源



禁止

電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本体の下敷きにしない。

コードが破損（芯線の露出や断線など）して、火災・感電の原因になります。



禁止

電源コードを熱器具に近づけない。

コードが破損（芯線の露出や断線など）して、火災・感電の原因になります。

⚠ 注意

指示

電源プラグのプラグ部分に、ほこりや金属などの異物が付着しているときは、乾いた布で取り除く。

そのままで使用すると、火災・感電の原因になります。年 1 回程度は、定期的に清掃してください。



指示

電源プラグはコンセントに根元まで完全に差し込む。また、ゆるみがあるときは使用しない。

差し込みが不完全な場合、発熱したりほこりが付着して火災の原因になることがあります。点検・整備・修理はお買上げの販売店にご依頼ください。



指示

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないで、電源プラグの根元を持って抜く。

コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。



電源プラグを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災・けがや周囲の汚損の原因になることがあります。



禁止

設置

タコ足配線はしない。

火災・感電の原因になることがあります。



禁止

直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所に設置しない。

故障や火災の原因になることがあります。



禁止

ぐらつく台、振動する場所や傾いた場所など、不安定な場所に設置しない。

落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因になることがあります。



禁止

調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気、ほこりが多いところに置かない。

火災・感電の原因になることがあります。



禁止

本体および電源コードをストーブやファンヒーターなどの熱器具に近づけない。

コードの被覆が溶けるなど、火災・感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

電池（リモコン）



禁止

小さなお子さまの手の届くところに電池を置かない。

お子さまが誤って口に含んだり飲み込んだりして、窒息の原因となることがあります。



禁止

指定以外の電池は使用しない。

間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲の汚損の原因になることがあります。



指示

リモコンに電池を入れるときは、極性表示（+と-の向き）に注意して表示どおりに入れる。

間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲の汚損の原因になることがあります。



禁止

電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しない。

電池がショートし電池の破裂、液もれにより火災・けがの原因になることがあります。



指示

電池を廃棄するときは、地方自治体の指示に従う。



禁止

電池を加熱したり、分解したり、火の中に入れない。

電池の破裂、液もれにより火災・けがの原因になることがあります。



指示

旅行などで長期間使用しないときは、リモコンの電池を取り出す。

電池の破裂、液もれにより火災・けがの原因になることがあります。



禁止

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらない。万一、口や目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受ける。

身体や衣服についた場合は、すぐに水で十分に洗い流してください。炎症などの症状があるときは、医師に相談してください。

その他



指示

電源を入れる前に音量を最小にする。

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になることがあります。

ATB090/ATB120/TA090/TA120 リモコン付アンプ内蔵 2.1 チャンネルスピーカー搭載テレビ台

⚠ 注意



禁止

長時間音が歪んだ状態で使わない。

スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。



指示

テレビ、ゲーム機、オーディオ機器などの機器を接続するときは、各機器の取扱説明書をよく読み、本体の電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。

指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると、発熱して、やけどの原因になることがあります。



指示

5年に一度くらいは本体内部の掃除をお買上げの販売店に相談する。

本体内部にほこりがたまつたまま、長時間掃除をしないと火災や故障の原因になることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用についてはお買上げの販売店にご相談ください。

目次

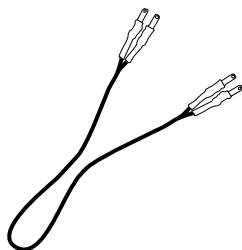
はじめに	2
主な特長	2
使用上のご注意	3
付属品の確認	10
各部の名称	11
前面 / 側面 / 操作パネル	11
テレビ台前面	12
操作パネル部	12
背面	13
リモコン	14
準備と接続	16
ゴム脚（インシュレーター）について	16
スピーカーケーブルを接続する	17
テレビやオーディオプレーヤーを接続する	18
リモコンを使う	19
リモコンの準備をする	19
リモコンの使い方	19
リモコンの電池を交換する	19
使い方	21
電源を入れて入力を切り替える	21
音量を調整する	21
一時的に音を消す（消音）	21
低音と高音を調整する	22
広がりのある 3D 音声で再生する	22
電源を切ってスタンバイ（待機）状態にする	22
故障かな？と思ったら	23
主な仕様	24
アフターサービスについて	25
製品の保証について	25
修理を依頼されるときは	25
補修用性能部品について	25
アフターサービスについてわからないことは…	25

ATB090/ATB120/TA090/TA120 リモコン付アンプ内蔵 2.1 チャンネルスピーカー搭載テレビ台

付属品の確認

本体以外に、次の付属品がそろっていることを確認してください。

- スピーカーケーブル×2本



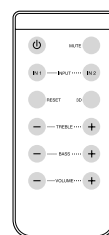
- 音声ケーブル（3.5mm ステレオミニジャック用）×1



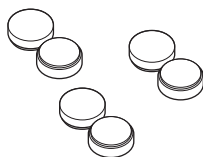
- 音声ケーブル（RCA ピンジャック用）×1



- リモコン（リチウム電池入り）



- ゴム脚（インシュレーター）×6



- 取扱説明書（本書）/保証書
（保証書は 27 ページに付いています）

- 組立説明書



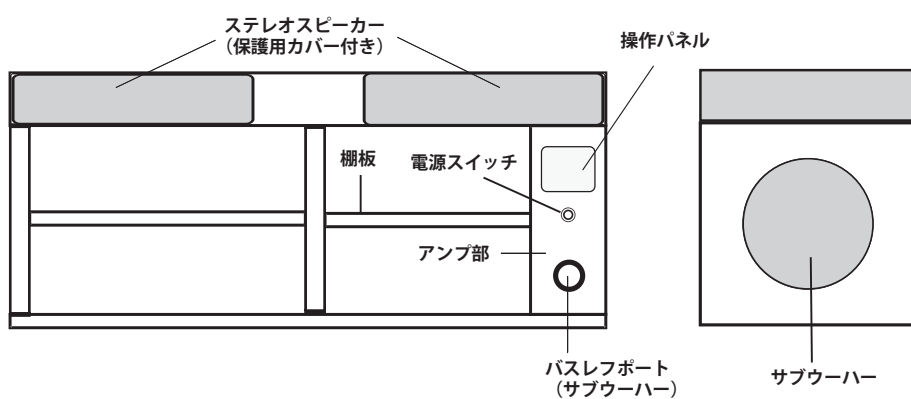
- 本体を組み立てる際の部品については、組立説明書をご覧ください。

各部の名称

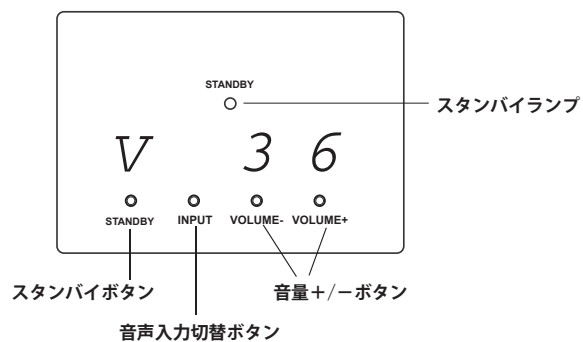
前面 / 側面 / 操作パネル

前面

右側面



操作パネル部



ATB090/ATB120/TA090/TA120 リモコン付アンプ内蔵 2.1 チャンネルスピーカー搭載テレビ台

テレビ台前面

□ ステレオスピーカー

ステレオ音声を再生します。

 Point

- スピーカーの保護用カバー（サランネット）は取り外せません。

□ 操作パネル

入力を切り替えたり、音量を調整します。操作パネルの下側に電源スイッチがあります。

□ 主電源スイッチ

主電源をオン／オフします。

□ サブウーハー

低音を専用に再生します。

□ バスレフポート（サブウーハー）

サブウーハーの低音を増強するためのポートです。

□ アンプ部

2.1 チャンネル再生をするためのアンプが内蔵されています。

□ 棚板

側板のダボの位置を変えると、移動することができます。

操作パネル部

□ スタンバイボタン（STANDBY）

電源を切ってスタンバイ（待機）状態にするときに押します。（⇒ 22 ページ）

 Point

- スタンバイボタン（STANDBY）は、リモコンの電源ボタンと同じ機能です。リモコンの電源ボタンを押して電源を切ると、スタンバイ（待機）状態になります。

□ 音声入力切替ボタン（INPUT）

押すたびに2系統の入力を切り替えます。（⇒ 21 ページ）

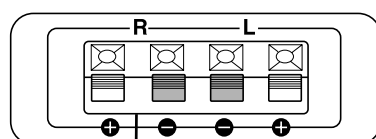
□ 音量調整＋／－ボタン（VOLUME －／VOLUME ＋）

音量を調整します。（⇒ 21 ページ）

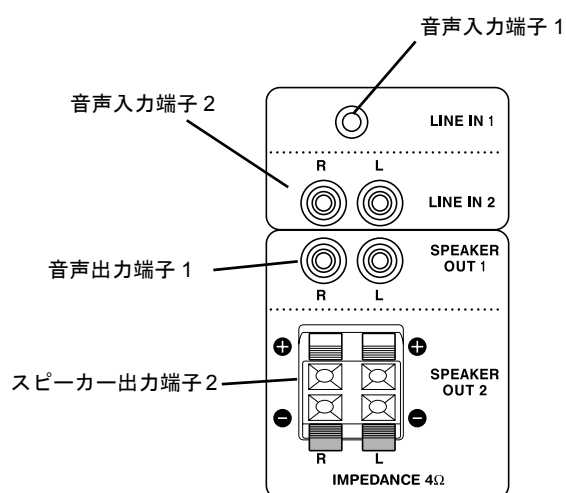
□ スタンバイランプ（STANDBY）

スタンバイ（待機）状態では、緑色に点灯します。（⇒ 22 ページ）

背面



スピーカー入力端子



□ スピーカー入力端子

付属のスピーカーケーブルで、下部にあるアンプ部のスピーカー出力端子 2 と接続します。(⇒ 17 ページ)

□ 音声入力端子 1 (LINE IN 1)

テレビやオーディオプレーヤーなどの音声出力端子に接続します (3.5mm ミニジャック)。(⇒ 18 ページ)

□ 音声入力端子 2 (LINE IN 2)

テレビやオーディオプレーヤーなどの音声出力端子に接続します (RCA ピンジャック)。(⇒ 18 ページ)

ATB090/ATB120/TA090/TA120 リモコン付アンプ内蔵 2.1 チャンネルスピーカー搭載テレビ台

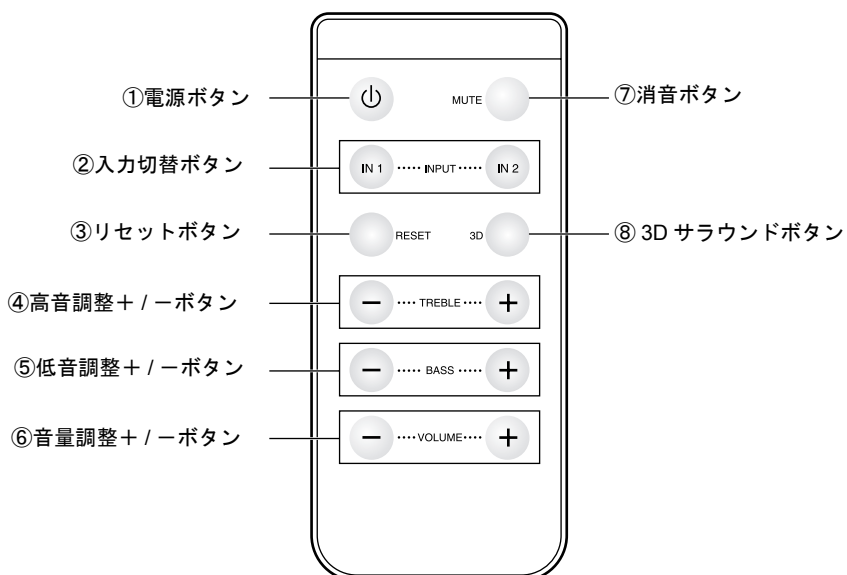
□ 音声出力端子 1 (SPEAKER OUT 1)

別のアンプやアンプ内蔵スピーカーなどにステレオ音声を出力します (RCA ピンジャック)。
(⇒ 17 ページ)

□ スピーカー出力端子 2 (SPEAKER OUT 2)

付属のスピーカーケーブルで、アンプ部上部にあるスピーカー入力端子と接続します。
(⇒ 17 ページ)

リモコン



① 電源ボタン

スタンバイ (待機) 状態のときに、電源をオン / オフ (スタンバイ) します。(⇒ 21 ページ)

② 入力切替ボタン (IN 1 / In 2)

2 系統の音声入力を切り替えます。「IN 1」を押すと音声入力端子 1 (LINE IN 1) の入力音声に切り替わり、「IN 2」を押すと音声入力端子 2 (LINE IN 2) の入力音声に切り替わります。

③ リセットボタン (RESET)

高音・低音のレベル、音量を初期状態に戻します。

各部の名称

④ 高音調整+ / -ボタン (TREBLE - / +)

高音のレベルを調整します。(⇒ 22 ページ)

⑤ 低音調整+ / -ボタン (BASS - / +)

低音のレベルを調整します。(⇒ 22 ページ)

⑥ 音量調整+ / -ボタン (VOLUME - / +)

音量を調整します。(⇒ 21 ページ)

⑦ 消音ボタン (MUTE)

音量を一時的に消します。(⇒ 21 ページ)

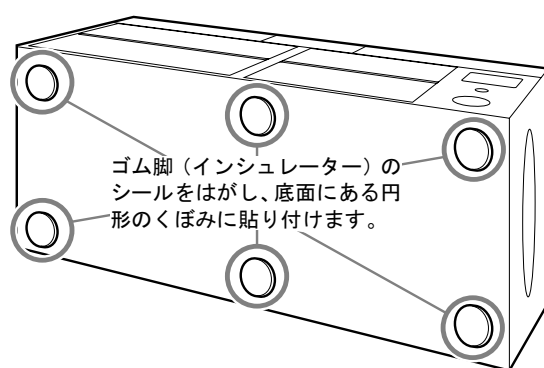
⑧ 3D サラウンドボタン (3D)

2.1 チャンネルスピーカーのステレオ再生で、広がりのある立体的なサラウンド効果のある音声を再生します。(⇒ 22 ページ)

準備と接続

ゴム脚（インシュレーター）について

床の傷防止と振動防止のために、付属のゴム脚（インシュレーター）を底面に貼り付けてください。ゴム脚（インシュレーター）のシールをはがし、底面にある円形のくぼみに貼り付けます。



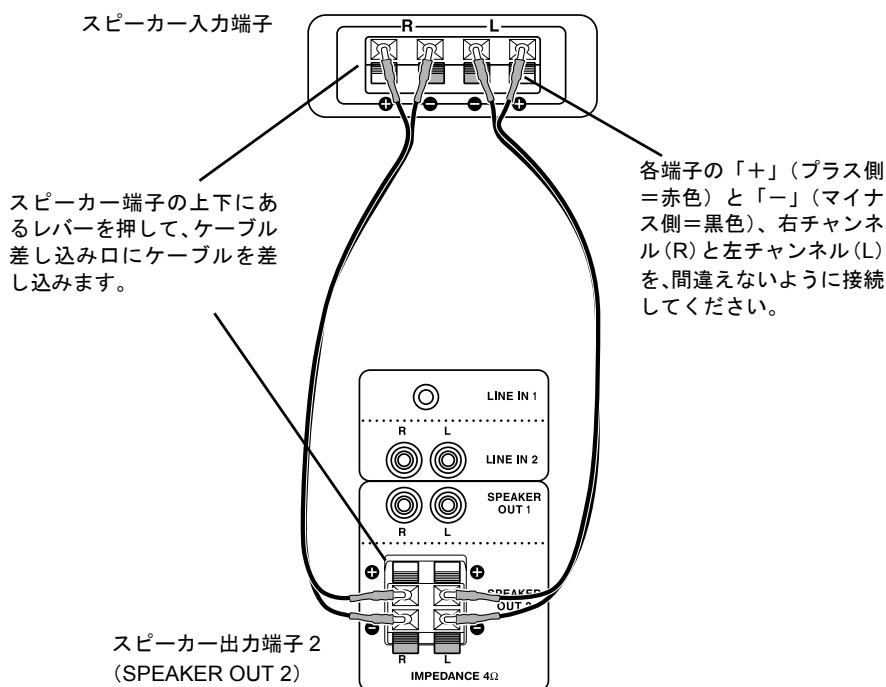
Point

- ゴム脚（インシュレーター）を取り付けたあとで本機を移動する場合、必ず床から持ち上げて移動してください。床面を引きずって移動すると、ゴム脚のあとが残ることがあります。

スピーカーケーブルを接続する

背面のスピーカー端子を、付属のスピーカーケーブルで接続します。

- スピーカー端子のレバーを押して、差し込み口にケーブルを差し込みます。
- スピーカー端子には、「+」（プラス側＝赤色）と「-」（マイナス側＝黒色）があります。スピーカーケーブルの色（金色と銀色）を目印にして、「+」（プラス側）とし、「-」（マイナス側）どうしで接続してください。スピーカーケーブルは、金色と銀色のどちらを「+」にしてもかまいません。
- スピーカー端子の右チャンネル（R）と左チャンネル（L）どうしを間違えないように接続してください。



Point

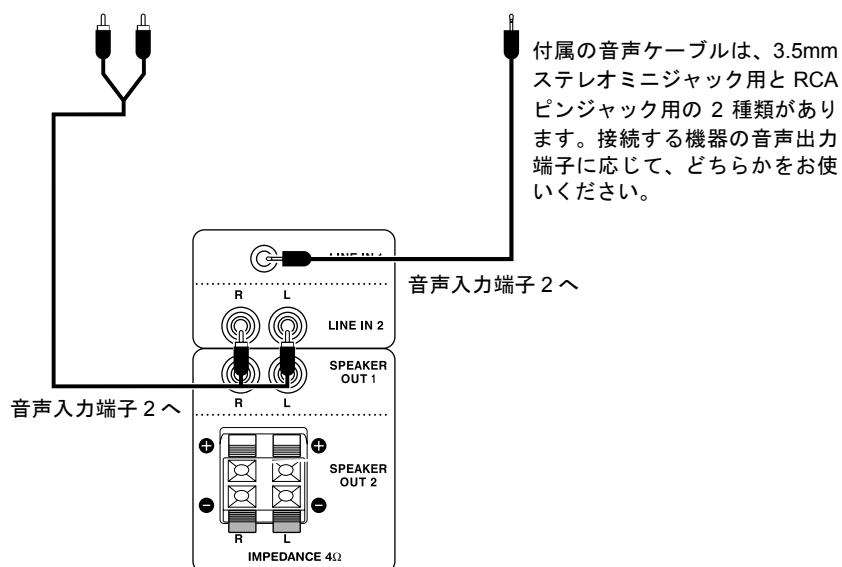
- スピーカー出力端子 2 (SPEAKER OUT 2) と音声出力端子 1 (SPEAKER OUT 1) の両方を同時に接続しないでください。上図のようにスピーカー出力端子 2 (SPEAKER OUT 2) とスピーカー入力端子を接続した場合、音声出力端子 1 (SPEAKER OUT 1) に外部スピーカー（アンプ内蔵型）を接続すると、本機の内蔵アンプに負荷がかかり故障の原因となります。

ATB090/ATB120/TA090/TA120 リモコン付アンプ内蔵 2.1 チャンネルスピーカー搭載テレビ台

テレビやオーディオプレーヤーを接続する

本機背面に、テレビやゲーム機、オーディオプレーヤーなどを 2 台まで接続することができます。接続する機器に合わせて、背面の入力端子 1(LINE IN 1)または入力端子 2(LINE IN 2)に接続します。

- 入力端子 1(LINE IN 1)の 3.5mm ステレオミニジャックには、ポータブルプレーヤーなどを接続します。
- 入力端子 2(LINE IN 2)の RCA ピンジャックには、テレビや各種のプレーヤーをステレオ音声ケーブル (RCA ピンケーブル) で接続します。



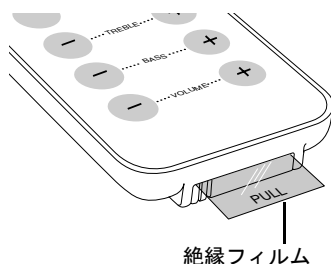
Point

- 機器によっては、付属のケーブルで接続できないことがあります。その場合は、接続する機器の取扱説明書をご覧になり、市販のケーブルをご利用ください。

リモコンを使う

リモコンの準備をする

ご使用前に、電池カバーに挿入されている絶縁フィルムを引き抜いてください。



付属の電池について

- 付属の電池は、出荷時の動作確認用のものです。できるだけ早めに新しい電池と交換することをお勧めします。

リモコンの使い方

本機正面下部のリモコン受光部とリモコンの間に障害物がなく直線上にある状態で、操作パネル部にリモコンの先端部分を向けてお使いください。

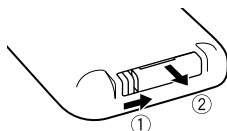


- リモコンの動作範囲は、リモコン受光部から約 7m 以内、左右の角度は、それぞれ 30 度以内です。
- 直射日光や照明器具の強い光が当たる場所または暖房器具の近くでは、正しく動作しないことがあります。
- 障害物があると、正しく動作しないことがあります。

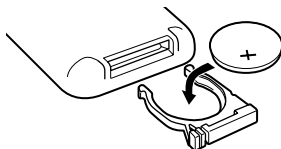
リモコンの電池を交換する

リモコンの電池が古くなって動作が不安定になったら、次の手順で電池を交換します。

- 1 図のように、リモコン背面の電池ケース左端のフックを右に押しながら (①)、電池ケースを下にスライドさせて取り外す (②)。



- 2** 古い電池を電池ケースから取り外し、新しいリチウム電池（型式 CR2025）を、「+」マークの面を上にして電池ケースに入れる。



- 3** 電池ケースをカチッと音がするまでリモコンにしっかりとめ込む。

⚠ 注意

- 極性（+ / -）を間違えないようにご注意ください。
- 長期間（1ヶ月以上）使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 古くなった電池は液漏れを起こしてリモコン破損の原因になります。ご注意ください。
- リモコンの操作が遅くなったりしたときは早めに電池を交換してください。交換の際は、リチウム電池（型式 CR2025）をお使いください。
- 電池を処分するときは、お住まいの自治体の指示に従ってください。

使い方

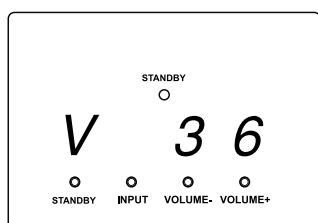


操作の説明について

- リモコンと本体に同じ機能のボタンがある場合、本書では、リモコンでの操作を前提に説明しています。

電源を入れて入力を切り替える

- 1 本体前面の主電源スイッチを押す。
電源が入ると、「IN 1」（選択されている入力）の表示に続いて現在のボリュームが表示されます。



- 2 リモコンの入力切替ボタン「IN 1」または「IN 2」を押して、入力を選ぶ。



- 本体の入力切替ボタン（INPUT）の場合は、押すたびに「IN 1」と「IN 2」が切り替わります。

音量を調整する

- 1 音量調整＋／－ボタン（VOLUME －／＋）で音量を調整する。



- 音量を初期状態に戻すには、リセットボタン（RESET）を押します。

一時的に音を消す（消音）

- 1 リモコンの消音ボタン（MUTE）を押す。
一時的に音量がオフになります。
- 2 元の音量に戻すときは、もう一度消音ボタンを押す。

低音と高音を調整する

- 1 リモコンの高音調整+/-ボタン(TREBLE -/+)と低音調整+/-ボタン(BASS -/+)を押して、高音と低音のレベルを好みの音になるように調整する。

Point

- 低音と高音のレベルを初期状態に戻すには、リセットボタン(RESET)を押します。

広がりのある 3D 音声で再生する

Point

- モノラル音声の再生中は、3D 音声の効果はありません。
- 1 リモコンの 3D 音声ボタン(3D)を押す。
一時的に音量がオフになります。
 - 2 通常のステレオ音声に戻すときは、もう一度、3D 音声ボタン(3D)を押す。

電源を切ってスタンバイ(待機)状態にする

- 1 リモコンの電源ボタンを押して電源を切る。
スタンバイ(待機)状態になり、スタンバイランプが緑色で点灯します。
- 2 電源を入れるには、もう一度、リモコンの電源ボタンを押す。

Point

- 本体操作パネル部のスタンバイボタン(STANDBY)は、リモコンの電源ボタンと同じ機能です。スタンバイボタン(STANDBY)を押してもスタンバイ(待機)状態になります。
- 外出時や長時間お使いにならないときは、本体の主電源ボタンを押して主電源を切ってください。

故障かな？と思ったら

操作や接続が間違っていると、正常に動作しないことがあります。故障かな？と思ったら、以下の点をご確認ください。それでも直らないときは、25 ページの「アフターサービスについて」をご覧ください。のうえ、修理を依頼してください。

症 状	原因・対処
いろいろ操作していたら正常に動作しなくなった。 衝撃や静電気、落雷などのあとで操作ができなくなった	一度電源を切って、しばらく（1分弱）してから電源を入れ直してください。または電源プラグを一度抜いてから、もう一度接続し直してください。
まったく音が出ない	- 電源コードが、壁のコンセントにきちんと接続されていますか？ - スピーカーケーブルは正しく接続されていますか？ 抜けてはいませんか？（⇒ 17 ページ） - 入力を正しく切り替えていますか？（⇒ 21 ページ） - 各機器は正しく接続されていますか？ また、接続した機器は正しく動作していますか？（⇒ 18 ページ） - 音量がゼロ、または消音になっていませんか？（⇒ 21 ページ）
ノイズが聞こえる	- スピーカーケーブルは正しく接続されていますか？ 抜けてはいませんか？（⇒ 17 ページ） - 各機器は正しく接続されていますか？ また、接続した機器は正しく動作していますか？（⇒ 18 ページ） - 接続した機器から高周波などのノイズが出ていませんか？ 機器と本機を離してみてください。 - 側面のサブウーハー、または正面のバスレフポートの近くに振動するものなどありませんか？
リモコンで操作ができない	- リモコンの電池の極性は正しいですか？（⇒ 20 ページ） - 電池が古くなっていませんか？ - リモコンと本機のリモコン受光部との間に障害物はありませんか？ リモコンを本機の正面に向けていますか？

Point

- 本機はあくまで家庭用向け機器であるため、業務用にご使用の場合は、保障期間中であっても有償修理とさせていただくことがありますのでご了承ください。
- 本書に記載されている使用方法を守らなかった場合、および本機が対応していないメディアを再生した場合の不具合については、サポートの対象外となりますのでご注意ください。

ATB090/ATB120/TA090/TA120 リモコン付アンプ内蔵 2.1 チャンネルスピーカー搭載テレビ台

主な仕様

電源	AC100V、50Hz/60Hz
使用スピーカーユニット	L/R チャンネル : 3 インチフルレンジ× 2+1 インチツイーター× 1 サブウーハー : 6.5 インチ
最大出力	L/R チャンネル : 16W、サブウーハー : 32W
出力インピーダンス	L/R チャンネル : 4Ω、サブウーハー : 8Ω
再生周波数帯域	30Hz ~ 20 k Hz
SN 比	75 dB 以下
使用温度範囲／使用湿度範囲	0℃～ 40℃／ 20 ~ 80%
サイズ (幅×高さ×奥行き)	● ATB090/TA090 : 900 × 495 × 448 mm ● ATB120/TA120 : 1,200 × 495 × 448 mm

アフターサービスについて

本製品については、上部のステレオスピーカーとアンプ部が保証対象になります。

製品の保証について

- 1 この製品には保証書がついています。保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。
- 2 保証期間はお買い上げの日から本体1年間です。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 3 保証期間後の修理は販売店またはドウシシャサービスセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

⚠ 警告

- 故障のときは、ただちに使用をやめて電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にこの製品をお持ち込みのうえ修理をお申しつけください。
- ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

補修用性能部品について

- 1 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 2 本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年間です。

アフターサービスについてわからないことは…

お買い上げの販売店、またはドウシシャサービスセンターにお問い合わせください。

株式会社 ドウシシャ

(東京本社) 〒140-8525 東京都品川区東大井 1-8-10

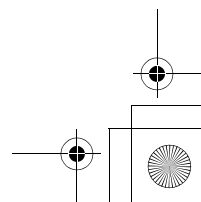
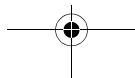
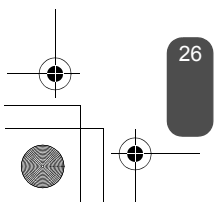
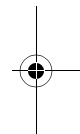
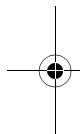
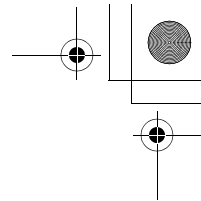
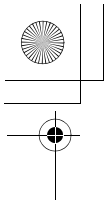
(大阪本社) 〒542-8525 大阪市中央区東心斎橋 1-5-5

□ 故障・修理についてのご相談は… ⇨ ドウシシャ福井 AV サービスセンター

【受付時間】9:00～17:00（祝祭日以外の月曜日～金曜日）

〒915-0801 福井県越前市家久町 41-1

TEL: 0778-24-2779 FAX: 0778-24-2799



リモコン付アンプ内蔵 2.1チャンネルスピーカー搭載テレビ台		保 証 書		持込修理	
型名	ATB090/ATB120/ TA090/TA120	シリアル No.			
保証期間	お買い上げ日	年 月 日	住所・お買い上げ店名	電話	— — (印)
	本 体	1 年	本書は、下欄の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。 お買い上げの日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。		
お住所	□□□-□□□□ 電話 — —		お客様へ 保証書に所定事項の記入または販売店印がない場合は必ず販売店発行の領収書または、その他の購入月日、店名等を証明するものを合わせてご提示ください。		
お客様 お名前	ふりがな		株式会社 ドウシシャ ■故障・修理についてのご相談に関しては・・・ドウシシャサービスセンター 〒915-0801 福井県越前市家久町41-1 株式会社ドウシシャ福井AVサービス TEL(0778)24-2779 【受付時間】 9:00～17:00(祝祭日以外の月曜日～金曜日)		

★販売店の皆様へお願い — 必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。

★本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

〈保証・無料修理規定〉**本書は、本書記載内容で、無料修理させていただくことをお約束するものです。**

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、商品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。無料修理させていただきます。
- なお、保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または保証書記載のドウシシャサービスセンターへご相談ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
 - (1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (2) お買い上げ後の落下や輸送上の故障および損傷。
 - (3) 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧、およびその他の天災地変による故障および損傷。
 - (4) 本書のご提示がない場合。
 - (5) 本書に、お客様名、お買い上げ日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
 - (6) 腐食による故障および損傷。
 - (7) 樹脂加工およびメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。
 - (8) 一般家庭用以外（例えば業務用、船舶や海上使用など）に使用された場合の故障および損傷。
 - (9) 故障の原因が本製品以外（電源など）にあってそれを点検、修理した場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼できない場合には、保証書記載のドウシシャサービスセンターへご相談ください。
- 出張修理をご依頼の場合は出張に要する実費を申し受けます。

修理実施日	修 理 内 容	担 当 者

- ※ この保証書は、本書に明記した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間などについて、詳しくは取扱説明書をご覧ください。なお、ご不明の場合は、お買い上げの販売店または保証書記載のドウシシャサービスセンターにお問い合わせください。
- ※ 当社の事業目的である流通・サービス業における商品の発送、関連するアフターサービス並びに当社の新商品・サービスに関する情報のお知らせのためにのみ利用させていただきます。なお、予め同意を戴かない限り、お客様の個人情報を上記目的以外には利用致しません。
- (注) アフターサービスにおいては、サービス会社に委託する場合には個人情報を提示することになりますので、ご了承願います。

この取扱説明書に記載してある仕様・イラスト等は、改良のため予告なく変更することがあります。



株式会社 ドウシシャ

 〈東京本社〉〒140-8525 東京都品川区東大井1-8-10
 〈大阪本社〉〒542-8525 大阪市中央区東心斎橋1-5-5

